

平成 25 年 4 月 10 日

各 位

**腹腔鏡下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター®」が
オランダの消化器外科学会で「Leading Innovation」に選ばれました。**

腹腔鏡下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター®」が、オランダの消化器外科学会において、2012年度の革新的な医療機器として「Leading Innovation」に選出されました。

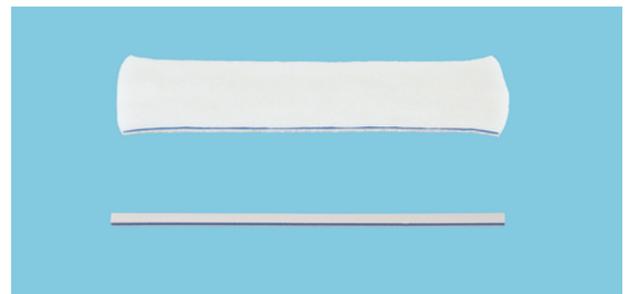
今回の選出に伴い、本年3月21日に開催されたオランダ消化器外科学会総会(NVGIC)にて製品を紹介する機会が与えられ、現地セント・アントニウス病院 スミッツ医師による講演を開催いたしました。

日本で幅広く行われはじめた腹腔鏡下大腸手術では、小腸が手術する医師の視野を妨げてしまうため、患者を頭低位にすることで術野の確保を行ってきました。しかし術中にしばしば小腸が落ち込んでしまうため、医師はその都度術野の再確保を行わねばならず、たいへんなストレスを伴います。また長時間の頭低位は合併症を引き起こす確率が高いといわれています。

「エンドラクター®」は腹腔鏡下手術時に、圧縮したスポンジを体腔内で吸水・膨潤させることで、視野の障害となる臓器を圧排する医療機器として、国内で多くの医療機関でご使用いただいております。



腹腔鏡下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター®」



膨潤前:下 膨潤後:上

本件に関するお問い合わせ先

川本産業株式会社 経営管理室(広報担当)

TEL 06-6943-8951 FAX 06-6943-7951

E-mail: koho@kawamoto-sangyo.co.jp